

米国環境保護局
ワシントン、D.C. 20460

大気放射局

2014年6月23日

コンピュータ製造事業者もしくは関係者各位

米国環境保護局(EPA)は、スレート/タブレットをその適用範囲に加えたENERGY STARコンピュータ仕様書バージョン6.0に対する変更の最終草案、及び米国エネルギー省(DOE)が策定したコンピュータ試験手順の最終草案を提供する。バージョン6.1を反映したこの変更は、現在認証されているモデルの状況に影響を与えない。

EPAは、時間と努力を注いでくれたENERGY STAR 関係者に、ENERGY STARプログラムをスレート/タブレットにも拡張したことを通知する。この最終草案に概説されたアプローチは、広範囲にわたる関係者が過去数か月にわたり強力に携わってくれた成果である。

- EPAは携帯用オールインワンコンピュータ（訳者注：ポータブルコンピュータ）を定義し、今後は、当該製品を以前提案していた一体型デスクトップコンピュータの分類には含めない。言い換えれば、これより携帯用オールインワンコンピュータは独立した対象製品となる。
- 適合基準ではスレート/タブレット及び携帯用オールインワンコンピュータに対し、スクリーンの対角線サイズを明確にし、類似のフォームファクターを有するが、使用法が異なる両者をはっきり区別した。
- 携帯用オールインワンコンピュータの要件を、電力管理要件(セクション 3.3)の表2及びエネルギー要件(セクション3.6)に追加した。
- EPAは、バッテリー充電効率の将来検討する際のガイダンス（指針）を、バージョン7.0の中でスレート/タブレットに含めることにした。
- 関係者のコメントに基づき、DOEは、スレート/タブレットの表示明るさ要件を200 cd/m²から150 cd/m²に変更した。

関係者は2014年7月14日までにcomputers@energystar.govへコメントすること。

EPAと産業界の関係者が意見交換をすることは、ENERGY STAR プログラムを成功させるために、最も大切なことである。質問は、直接、EPAのRJ Meyers(Meyers.Robert@epa.govまたは202-343-9923)もしくは、ICF InternationalのJohn Clinger (John.Clinger@icfi.comまたは 215-967-9407)に連絡のこと。試験方法に関しては、直接、DOEのJeremy Dommu, (Jeremy.Dommu@ee.doe.govまたは 202-586-9870) に連絡すること。

Robert Meyers

製品マネージャ

ENERGY STAR コンピュータ担当